

教員養成課程等におけるICT活用指導力の育成のための調査研究 Study on Fostering "Teaching Skills for ICT Use" on a University Teacher Training Courses

本研究は、21世紀を生きる子供たちを指導する教員に必要とされるICT活用指導力の育成について、総合的に調査研究を行い、学生が教員養成課程及び教職課程で身につけるべきICT活用指導力を育成するカリキュラム等の諸課題の改善に資する知見を得ることを目的とする。

教員養成を行っている大学等

質問紙調査

教育センター等

訪問調査

海外教育機関

アメリカ合衆国、中国（上海）、
エストニア、シンガポール、
オーストラリア、デンマーク

教員養成課程等におけるICT活用指導力の育成

(1) 施設設備に関する調査

- 「機器の整備状況」は、プロジェクタ等は整備されているが、無線LAN対応の教室、私的デバイスの活用、デジタル教科書等への対応は課題
- 「研修」は、アクティブ・ラーニングの視点を踏まえたICTの活用、情報セキュリティ・情報モラル等に関して、小中規模校での実施率が低い

(2) 教職に関する科目の講義に関する調査

- 「講義でのICT活用」では、資料提示では活用されているが、学生間の考え方の共有、学生一人一人に応じた学習、グループワーク等での幅広い活用が必要
- 「学生が教材研究等する上でのICT活用の指導」では、教育効果や利点の理解、資料の収集や作成に関しては高いが、教材としての活用等の幅広い活用や技術科・情報科以外の教科での指導が課題
- 「学生が授業を実施する上でのICT活用の指導」は全般的に低く、大学教員が自らの講義での活用にもまず取り組む必要
- 「情報活用スキル」や「情報活用の基盤となる知識や態度」の指導は、だいたい高いが、全員が受講する講義での指導の充実が望まれる

(3) 教員養成学部に対するインタビュー

- 「ICT活用力」は、科目「情報処理」で育成し特別の時間は割いていない
- 「再課程認定・コアカリキュラムへの対応」では、全教科の授業再編を予定し、教授内容の再配置での対応を検討
- 教育実習に行っても困らない授業の演習ができる環境整備が必要

現職教員のICT活用指導力の育成

(1) 質問紙調査

- ICT指導力水準が高い自治体では、教員や児童生徒のICT活用の姿を意図して、危機管理、セキュリティやモラル、ICT機器を活用した教材作成・授業づくりを含む幅広い内容での研修を実施している割合が高い

(2) 事例調査(岡山県)

- 平成21年度に到達度目標を設定し、情報教育担当者に校内研修の模擬研修を含めて研修を開始し、都道府県間順位は大幅に上昇、平成25年度から全項目で1、2位

海外におけるICT活用指導力の育成

- 日々進化するICTを、どのようにキャッチアップし授業に取り入れていくかは、いずれの国も困難を感じ、試行錯誤している状況
- 個別具体のツールはすぐに陳腐化してしまうため、教育に必要なツールやサービスについては、教員自らがその都度学べるような方策や教員同士で教え合える環境を作る、オンライン研修を準備する、技術支援員を配置する等が重要
- ICT活用方法については、教員が児童生徒とともに一緒に学ぶという姿勢を持つこと